

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【公開番号】特開2016-214524(P2016-214524A)
 【公開日】平成28年12月22日(2016.12.22)
 【年通号数】公開・登録公報2016-069
 【出願番号】特願2015-102423(P2015-102423)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月22日(2018.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技価値を用いて賭数を設定することにより識別情報の可変表示を行う可変表示手段を備え、該可変表示手段に導出表示された表示結果が再遊技を示す場合、新たに遊技価値を用いることなく賭数が設定されるスロットマシンにおいて、

再遊技に応じて賭数が設定されたときに情報を出力する情報出力手段と、

遊技に関する異常を検出する異常検出手段と、

前記異常検出手段に異常が検出されたとき異常情報を出力する異常情報出力手段と、
 を備え、

前記異常情報出力手段は、

識別情報の可変表示が実行されていないタイミングで前記異常検出手段により異常が検出された場合、該タイミングから異常情報を出力し、

識別情報の可変表示を開始してから再遊技に応じて賭数が設定されるまでの期間内の所定タイミングにおいて前記異常検出手段により異常が検出された場合、該再遊技に応じた賭数の設定後に異常情報を出力するとともに、該再遊技の賭数設定に応じて出力される情報の出力が完了する以前に、該異常情報の出力を開始する

ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 遊技価値を用いて賭数を設定することにより識別情報の可変表示を行う可変表示手段(左リール 2 L、中リール 2 C、右リール 2 R)を備え、該可変表示手段に導出表示された表示結果が再遊技を示す場合、新たに遊技価値を用いることなく賭数が設定されるスロットマシンにおいて、

再遊技に応じて賭数が設定されたときに情報を出力する情報出力手段(外部出力基板 1 0 0 0)と、

遊技に関する異常を検出する異常検出手段（メイン制御部４１）と、
前記異常検出手段に異常が検出されたとき異常情報を出力する異常情報出力手段（外部出力基板１０００）と、
を備え、
前記異常情報出力手段は、

識別情報の可変表示が実行されていないタイミングで前記異常検出手段により異常が検出された場合、該タイミングから異常情報を出力し、

識別情報の可変表示を開始してから再遊技に応じて賭数が設定されるまでの期間内の所定タイミングにおいて前記異常検出手段により異常が検出された場合、該再遊技に応じた賭数の設定後に異常情報を出力するとともに、該再遊技の賭数設定に応じて出力される情報の出力が完了する以前に、該異常情報の出力を開始する（ステップＳｊ３～Ｓｊ１０、ステップＳｋ４２０，Ｓｋ４２０１，Ｓｋ４２１，Ｓｋ４２２、図３８）。